

指定都市市長会 第3回 こども部会

令和6年11月18日

有識者との意見交換（プロフィール）

湯浅 誠 氏（認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長）

○社会活動家。東京大学先端科学技術研究センター特任教授。

経済同友会会員。

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長。

○1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間に閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。

こども家庭庁「こども家庭審議会こどもの居場所部会」委員。

○著書に、『つながり続ける こども食堂』（中央公論新社、2021年）、『子どもが増えた！明石市人口増・税収増の自治体経営』（泉房穂氏らとの共著、光文社新書、2019年）、『「なんとかする」子どもの貧困』（角川新書、2017年）、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』（朝日新聞出版、2012年）、『反貧困』（岩波新書、2008年、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞）など多数。



認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえについて

平成30年に「にぎわいを創りたい。そこからこぼれる子をなくしたい」という思いから設立された。全国のこども食堂運営者による情報交換や意見交換などを行っている「地域ネットワーク団体」の支援事業や企業・団体との協働事業、調査・研究事業などを行う。

提言活動までのスケジュール

日 程	内 容
第3回部会終了後～ 令和6年度末	・ これまでの議論や新年度向けの国の事業等の動向を踏まえ、 こども部会としての提言文案の調整及び確定
令和7年4月～ 5月上旬	・ 提言文案に関する20市照会
令和7年5月16日	・ 第4回こども部会において提言文案の最終確定 ・ 第61回指定都市市長会議で提言を採択
令和7年5月下旬～ 6月上旬頃	・ 提言活動実施